

福山外務副大臣の上海万博関連行事出席（概要）

平成22年5月6日

経済局政策課

中国・モンゴル課

福山哲郎外務副大臣は、4月30日（金）から5月2日（日）までの日程で、上海万博関連行事に出席したところ、概要は以下の通りです。

1. 上海万博関連行事への出席等

福山副大臣は、日本代表団の副団長として（団長：仙谷国家戦略担当大臣（総理特使））、4月30日に行われた上海万博の歓迎晩餐会及び開幕式、及び5月1日（土）に行われた日本館の開館式に出席するとともに、日本館、日本産業館、大阪館、中国館などを視察しました。

2. 賈慶林全国政協主席との会談

（1）福山副大臣は、1日に上海市内の東郊賓館にて行われた仙谷国家戦略担当大臣（総理特使）と賈慶林（JIA Qinglin）中国人民政治協商會議全国委員会主席との会談に出席しました。

（2）会談においては、冒頭、上海万博や青海省の地震被害に関するやりとりに続いて、中国側から日中経済関係の現状や、グリーン成長、低炭素社会に向けた協力について言及があり、日本側からは、①新政権として、現在を「第三の開国」として捉え東アジアに対し日本を開いていく考えであり、特に東アジア共同体の実現において、日中の戦略的互惠関係がその基礎となる、②今後の日中韓の外相会議、首脳会議、温家宝総理の訪日、鳩山総理の上海万博ジャパンデー参加、APECなどハイレベルの交流を通じて、日中関係の発展に寄与していく、③海上自衛隊の監視行動への中国側の動きに対して、国内でも懸念する声があり、日中で危機管理のメカニズムを早急に構築したい、④アジア、特に日中間において、感染症予防の常設の事務局を創設し、情報共有等を行うほか、地震、台風、津波、災害などで共同対処できる復旧センターや訓練センターを創設することを提案したい旨述べました。これに対し、中国側からは、これらの提案に関し外交当局を通じて事務的に話し合っていきたい旨回答がありました。（会談後、仙谷大臣より、鳩山総理発胡錦濤国家主席宛の親書を手交し、転達を依頼しました。）

（了）